

ふぶん にっしょく ようし
小学校 年 組 なまえ：

かんさつばしよ

9時40分	9時50分	10時00分	10時10分
10時20分	10時30分	10時40分	10時50分
11時00分	11時10分	11時20分	11時30分
11時40分	11時50分	12時00分	12時10分
12時20分	12時30分		

たいよう か
太陽が欠けたところ
くろ
を黒くぬりま
しょう。

岡山での部分日食

食のはじまり 午前 9時44分
食の最大 午前11時02分
食のおわり 午後12時22分

メモ：

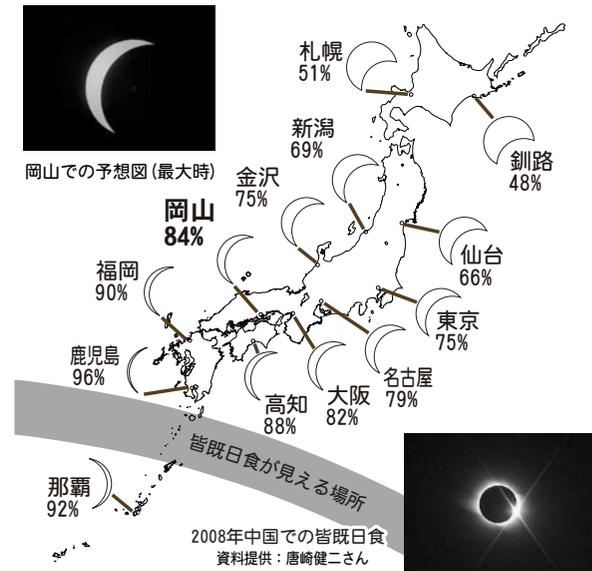
7月22日 部分日食観測ガイド

2009年7月22日(水)にアジア・太平洋地域にかけて起こる日食は、日本国内で見ることができる46年ぶりの皆既日食となります。

国内で皆既日食が観測できるのは黒く示された帯の中の、奄美大島北部、トカラ列島、屋久島など、わずかな陸域のみですが、国外では中国の上海でも皆既日食が観測できます。それ以外の地域では、規模の大きな部分日食として観測できます。

日食は最も印象深く、偉大な自然美を感じることができる天文現象といわれています。しかし、強烈な太陽光線から肉眼を守るため、正しい観測の知識と、安全な道具を使用することも重要です。

この観測ガイドでは、今回の日食をよりよく楽しむためのノウハウや、観測の安全対策についてご紹介していきます。



岡山では8割以上欠ける部分日食

岡山では9時44分に太陽が欠け始め、11時02分に最も大きく欠け(食 部分日食の最大)、12時22分には元の丸い形に戻ります。中国の上海、鹿児島県トカラ列島周辺では皆既日食となるため、現地に行けない人は、皆既日食のテレビ中継もおすすめです。

申込不要 日食直前説明会

日時：7月18日(土) 19:00~20:00
対象：一般(小学生以下は保護者同伴)
※参加自由・無料
見どころ、注意点、観測方法など、日食観測のノウハウを紹介。参加者に日食観測フィルターを配布。

申込不要 特別天体観望会「部分日食をみよう」

日時：7月22日(水) 9:30~12:30
対象：一般(小3以下は保護者同伴)
※参加自由・無料。悪天候で太陽が見えない場合は中止。
※真備図書館屋上のたけのこ天文台でも観望会を実施。(10~12時、悪天候時中止)

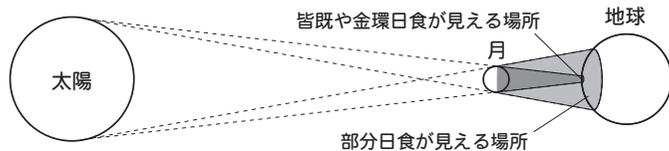
日食とはどんな天文現象？

日食は太陽と月が重なり、明るい太陽の輝きが失われたり、太陽が欠けて見える現象です。

太陽全体が月にかくされる「皆既日食」では、コロナと呼ばれる太陽を取り巻く美しいガスの模様が見えます。月と太陽が重なっても太陽全体をかくしきれないときは「金環日食」、一部だけが太陽と重なるときは「部分日食」と呼ばれます。



日食を宇宙空間から見ると、図のように太陽-月-地球が一直線に並んでいます。月が地球に影を落としている場所が、日食が見える地域です。皆既日食や金環日食を見ることのできるのは、非常に限られた地域ということも、この図から分かります。



日食を安全に観測するために「まぶしくない=安全」はまちがい

太陽の光は強烈です。日食を長時間観察するときには、目を傷めない特別な工夫が不可欠です。特にお子さんと一緒の日食観測は、周囲の大人（保護者や指導者）が正しい観測方法を理解し、しっかり安全管理を図ってください。（熱射病にもご注意ください）

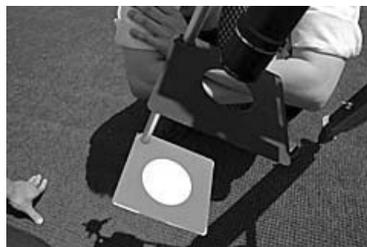


ちよくせつ目で太陽を見てはいけません
 サングラスで太陽を見てはいけません
 望遠鏡や双眼鏡で太陽を見てはいけません
 したじきで太陽を見てはいけません
 カラーフィルムで太陽を見てはいけません
 すずをつけたガラスで太陽を見てはいけません



日食観測には、安全が保証された市販の日食メガネ（フィルター）の購入をおすすめします。カメラ屋、文房具屋、ホームセンターなど、一部の店舗で取り扱いがあります。

「太陽がまぶしくない=安全」という認識は誤りです。以前は「したじき」「カラーフィルム」などを使うことが多かったのですが、赤外線を通し、目のやけどにつながる恐れがあるため使用をお控えください。望遠鏡や双眼鏡での日食観測は危険を伴います。「投影法」と呼ばれる観測方法が一般的ですが、望遠鏡に詳しくないという方は、安全優先で望遠鏡観測をあきらめていただくのが無難です。



ユニークな観測方法（ピンホール、木漏れ日を利用）

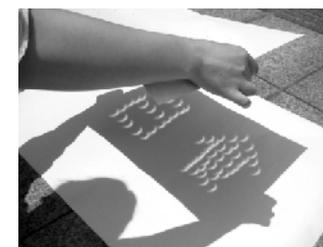
ピンホールと呼ばれる針で空けた1ミリ程度の小さな穴に太陽光を通すと、地面や紙に太陽の形を映し出すことができます。



科学館で製作したピンホールを利用した日食観測器
 手元に太陽像が映し出されている。
 （筒の両側に穴を開けたアルミホイルと紙を貼る）

テレホンカードや図書カードに空いた穴は、こうした観測にぴったりです。

また、ピンホールを使った観測法は、穴の空いた身近な道具で代用することもできます。麦わら帽子や調味料のフタなど、みなさんもさまざまなアイデアを試してみてください。



紙に1~2ミリほどの針穴を開け、自由に文字や絵を描くと楽しい日食アートに。

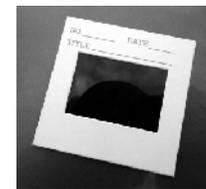


お玉の穴を通った光が、欠けた太陽像になっている
 画像提供：名古屋市科学館

樹木の木漏れ日に、欠けている太陽が映し出される場合もあります。近所に木漏れ日がたくさんある樹がないか、事前に探しておくといでしょう。

日食観測用フィルターを配布します

倉敷科学センターでは、日食観測用フィルター7千枚を無料配布いたします。長時間続けて観測し続けられないなど、正しい使用方法を厳守してご活用ください。



7月1日(水)より配布開始。原則1家族に1枚のみ配布。倉敷科学センター受付までお越しいただくか、80円切手を貼った返信用封筒を同封の上、以下に郵送(7/15しめきり)。なお、予定枚数を終了しだい、配布を終了しますのでご了承ください。

〒712-8046 倉敷市福田町古新田940
 倉敷科学センター「日食フィルター」係



このような木漏れ日があったらしっかりチェック。木漏れ日に映し出される欠けた太陽は、とても不思議な光景です。